



※本資料は当社ホームページで公開しております動画「CAMベトナムウィークリー」を元に作成しております。右のQRコードからご視聴いただけます。



情報提供用資料

2024年9月24日

# CAMベトナムウィークリー (先週のVN指数 : 9/13-9/20)



	週間	月間	YTD
<b>VN指数</b>	<b>1.62%</b>	<b>-0.92%</b>	<b>12.58%</b>
<b>VN30指数</b>	<b>2.45%</b>	<b>-0.41%</b>	<b>17.19%</b>
<b>VN中型株指数</b>	<b>1.57%</b>	<b>-1.12%</b>	<b>9.88%</b>
<b>VN小型株指数</b>	<b>1.02%</b>	<b>-1.20%</b>	<b>3.22%</b>

先週のVN指数は1251.71ポイントから1272.04ポイントへと +1.62%の反発となりました。ベトナム市場は台風による被害が懸念され下落して始まりましたが、外国人機関投資家に対するプレファンディング規制の緩和観測が台頭し、実際に通達が出されたことを受けて上昇基調に転じました。

IT大手が8月の好業績を発表したことや、米連邦準備理事会が0.5%の大幅な利下げを決めたこともサポート材料となりました。

規模別にみますと、大型株のVN30指数が +2.45%と大きく反発いたしました。また、VN中型株指数が +1.57%、VN小型株指数が +1.02%と、それぞれ上昇に転じております。

	週間	月間	YTD
<b>為替レート</b> (ドン対円レート)	<b>0.92%</b>	<b>-0.21%</b>	<b>-0.58%</b>

通貨ベトナムドンにつきましては、米ドルに対して安定的に推移いたしました。一方、米連邦準備理事会が大幅な利下げに踏み切ったものの、市場では既に織り込みが進んでいたとみられ、ドル高円安に転じる展開となりました。週間ではベトナムドンは円に対して +0.92%と反発しております。

セクター	騰落率	セクター	騰落率
金融	3.2%	素材	1.9%
不動産	0.8%	公益事業	-0.8%
生活必需品	0.4%	エネルギー	1.3%
一般消費財	0.6%	情報技術	1.8%
資本財	1.7%	ヘルスケア	1.3%

セクター別に見ますと、9セクターが上昇いたしました。特に左上の金融が +3.2%、右上の素材が +1.9%と、それぞれ上昇に転じております。また、右下から2番目の情報技術が +1.8%と続伸いたしました。



銘柄名[ティッカー]	騰落率
シーバンク（金融）[SSB]	+8.5%
テクコムバンク（金融）[TCB]	+6.1%
アジア・コマーシャル銀行（金融）[ACB]	+5.1%

銘柄名[ティッカー]	騰落率
PVパワー（公益事業）[POW]	▲2.0%
ペトロベトナム・ガス（公益事業）[GAS]	▲1.6%
ビンググループ（不動産）[VIC]	▲1.4%

大型株VN30指数構成銘柄の騰落率を見ますと、中堅民間銀行のシーバンクが +8.5%、大手民間銀行のテクコムバンクが +6.1%、アジア・コマーシャル銀行が +5.1%と、それぞれ反発しております。

一方、下落銘柄は発電大手のPVパワーが -2.0%、国営ガス大手のペトロベトナムガスが -1.6%、複合企業のビンググループが -1.4%と、それぞれ続落となっております。



先週のVN指数は、外国人機関投資家に対するプレファンディング規制緩和の通達などを受け、上昇に転じました。通達の施行日は11月2日とされ、FTSEによるベトナムの市場分類の格上げに向けた動きとして注目されます。

バリュエーション面では、足元の予想PERが10.6倍と過去平均を下回る水準にあり、依然として割安感が注目されます。

以上